

コンフォートデルグロ (CMDG)

グローバル展開が進展。ロボタクシー事業の拡大方針に加え、公共交通部門における海外事業が加速

シンガポール | 輸送サービス | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG :CD | REUTERS CMDG.SI

- 2025/12通期は、売上高が前期比13.0%増、営業利益が同15.5%増。豪州、英国における買収に伴う海外売上構成比の上昇が業績に寄与した。
- 自動運転タクシー（ロボタクシー）事業を拡大する方針。シンガポール・中国に続き英国でも始める計画である。
- 公共交通部門において英国とオーストラリアのバス事業に加え、スウェーデンのストックホルム・メトロ合弁事業などグローバル展開が加速。

What is the news?

2/27発表の2025/12通期は、売上高が前期比13.0%増の50.5億SGD、営業利益が同15.5%増の3.7億SGD、純利益が同9.4%増の2.3億SGD。豪州タクシー大手A2B社の買収、英国の配車サービス大手Addison Lee社および陸運管理大手CMC社の買収もあり、地域別で海外の売上構成比が6.2ポイント上昇の55.3%となった。

通期の主な事業セグメント別業績は以下の通り。①バスと鉄道を含む「公共交通部門」は、売上高が前年同期比6.0%増の32.9億SGD、営業利益が同3.7%増の1.78億SGD。英国のメトロラインで契約更新時の条件有力改定やオーストラリアのビクトリア州における脱炭素ゼロエミッション目標の条件に関連したデポ（バスターミナル）売却益が増益に貢献した。②タクシー事業、プラグインハイブリッド車（PHV）などのレンタル、補修サービス、および燃料販売等を含む「タクシー&プライベート・ハイヤー部門」は、売上高が同38%増の10.23億SGD、営業利益が同10%減の1.21億SGD。昨年における豪州A2B社と英国Addison Lee社の買収が増収に寄与した一方、買収関連の償却費用が利益面で響いた。③「その他プライベート交通部門」は、売上高が同14%増の4.64億SGD、営業利益が同横ばいの0.16億SGD。④自動車含む幅広い分野の点検・試験を含む「点検&テストサービス部門」は、売上高が同41%増の1.65億SGD、営業利益が同50%増の0.51億SGDだった。

How do we view this?

同社は、タクシーや配車サービスが世界的に運転手不足となる中、自動運転タクシー（ロボタクシー）事業を拡大する方針であり、シンガポールや中国に続き英国でも始める計画だ。チェン・ジャクキャンCEOによれば、今後4～5年でグループのタクシー運行台数の1割を自動運転車にする構想を抱いている。これまで中国とシンガポールでロボタクシー事業に取り組み、自動運転技術は中国の新興企業である小馬智行（ポニー・アイ）と提携することで調達している。

同社は公共交通部門において、地元シンガポールのバスや地下鉄に加え、英国ではロンドンのバスの総運行距離の約17%を占め運行事業者で3位を占めている。豪州のメルボルンでもバスなどを担うほか、スウェーデンでは2025年11月に運営が開始されたストックホルム・メトロの合弁事業（契約期間11年）が同社で最大の鉄道事業となる見通しだ。また、英マンチェスターでも今後5年間のバス運営契約を獲得するなど、グローバル展開による成長が軌道に乗ってきている。

業績推移

※参考レート 1SGD=125.02円

事業年度	2023/12	2024/12	2025/12	2026/12F	2026/12F
営業収益(百万SGD)	3,880	4,476	5,058	5,266	5,266
当期利益(百万SGD)	180	210	230	240	258
EPS(SGD)	0.08	0.10	0.11	0.11	0.12
PER(倍)	15.75	14.02	13.45	13.82	12.67
BPS(SGD)	1.20	1.20	1.20	1.28	1.32
PBR(倍)	1.05	1.17	1.23	1.19	1.15
配当(SGD)	0.07	0.07	0.08	0.09	0.10
配当利回り(%)	5.56	4.99	5.41	5.92	6.58

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (SGD) **0.09** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **1.52** 2026/4/22

会社概要

2003年にコンフォート・グループとデルグロの2つの陸送会社が統合して設立。シンガポールを拠点とした世界最大規模の陸上輸送会社であり、オーストラリア、英国、中国、マレーシア、日本を含む7カ国で事業を展開。世界で約3万4千台の車両を保有している。

同社の事業には、バス、タクシー、鉄道、レンタカーおよびリース、自動車エンジニアリング サービス、検査および試験サービス、運転センター、非緊急患者輸送サービス、保険仲介サービス、屋外広告が含まれる。

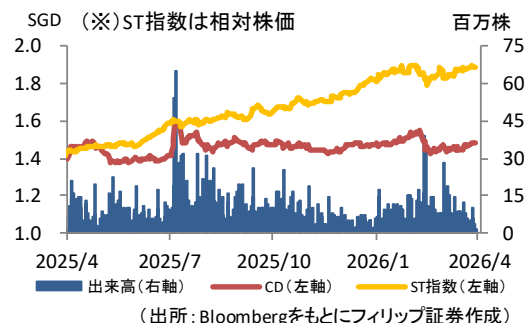
シンガポールで最も有名なタクシー運営会社で、ブルーキャブ(Comfort)、イエローキャブ(CityCab)、レッドキャブ(Red Top)、シルバーキャブ(Silvercab)などのブランドで知られる。

バス事業は、シンガポールの公共バス運行の一部を担当し、市内外で多くのバスルートを運営している。

モバイルアプリを通じたタクシー予約や支払い、交通情報の提供など、顧客に便益をもたらす新しいサービスを提供するほか、バスとタクシーの電気自動車(EV)導入を促進し、環境への影響を最小限に抑えるための持続可能な交通ソリューションにも注力している。

企業データ(2026/4/23)

ベータ値	0.78
時価総額(百万SGD)	3,293
企業価値=EV(百万SGD)	4,631
3か月平均売買代金(百万SGD)	15.7



主要株主(2026/4)

1. シルチェスター・インターナショナル	8.01
2. アリアライズ・フ	6.20
3. モントリアル銀行	5.13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 +81 3 3666 6980
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。